



呉市の東部に位置する阿賀，広方面から呉市の中心部に向かうには，休山新道のトンネルができる前は，人も車も「呉越峠」というカーブが多い急な坂道を通らなければなりませんでした。今では，4車線の立派な道路が通るこの峠も，大正時代までは，険しく細い道しかありませんでした。道行く人々は，のどの渇きを呉越峠の頂上から阿賀方面に少し下った所にある，「呉越名水」でいやしたことでしょう。荷車を引く牛や馬にも峠で一休みするとき，この名水を飲ませたということです。



地蔵堂の前から見た呉越峠



呉越の名水

この「呉越名水」は，JR 阿賀駅から旧国道 185 号線に沿って呉方面に約 2.7 km 進んだ所にあります。そこへは，原小学校の裏側の車 1 台が通るくらいの細い坂道を上って行きます。原小学校からは約 1 km の道のりで，歩くと 15 分くらいで着きますが，かなり急な坂道です。名水の出る井戸の隣には，お地蔵様がいつごろからか，まつられるようになったということです。そのためのお小さなお堂も建てられ，地元の人たちによっていつもきれいに掃除されています。

「この水で入れたお茶やコーヒーは格別の味じゃ。何か味が丸くなるようじゃ。」と，よくここに水をくみに来るおじいさんが教えてくれました。また，「この水は，雨が降ってもにござらんし，ここへは，地元ばかりでなく，呉市内からもくみに来る人もいるんじゃ。」とも教えてくださいました。

### おすすめポイント

ぼくもさっそく飲んでみましたが，夏の名水は冷たくて，乾いた体にしみこむようでした。ぼくは，いつまでもおいしい水がわき続けるよう，お地蔵様が見つめておられるのだと感じました。



地蔵堂